

**記入例**

※記入例の注記を確認し、太字箇所を記入すること

様式第1号（第3条関係）

## 公共物使用許可申請書

令和〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 狭山市長

住所 〒350-1380

埼玉県狭山市入間川1-23-5

氏名 〇〇 〇〇

担当者 ▲▲▲株式会社 〇〇 〇〇

電話 04-2953-1111

次のとおり、公共物の使用許可を受けたいので申請します。

| 公共物の区分 | 市有水路敷<br>その他（ ）                                    |
|--------|--|
| 使用目的   | 居住を目的とした出入口に使用するため<br>※注3参照<br>※水路の出入口は事前に協議を行うこと。 |
| 設置する物件 | ボックスカルバート<br>※構造は事前に協議を行うこと。                       |
| 使用場所   | 狭山市 入間川一丁目3000-1番地先<br>※注5参照                       |
| 使用数量   | 幅4.2m ※使用幅は事前に協議を行うこと。                             |
| 使用期間   | 許可日から 令和〇〇年 3月31日まで                                |
| 工事期間   | 許可日から 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで                                |
| 添付書類   | 案内図・公図の写し・平面図・委任状・構造図                              |

注1 2通提出してください。

2 添付書類は、申請内容により異なります。

## 公共物使用許可申請書 記入例の注記

注1 申請者が法人であり、申請を委任していない場合には、「住所」の欄には主たる事務所の所在地を、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄には所属・氏名・電話番号を記載すること。

申請者が個人もしくは法人であり、申請を委任している場合には、「担当者」の欄には委任を受けた事業者の事業者名および担当者氏名を記載し、担当者の電話番号を記載すること。

注2 公共物の区分は水路の場合は「市有水路敷」と記載すること。

注3 水路を出入に使用する場合は、事前に協議を行うこと。

注4 設置する物件は、物件の名称を記載すること。

注5 使用場所は、使用場所に一番近い地番を記載すること。また、土地に地番がある場合は、土地の地番を記載すること。(〇〇番地)

使用場所が2箇所以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。

(〇〇番地先から〇〇番地先まで)

注6 使用数量は、新規、撤去及び撤去埋設、規模、数量を記載し、面積は不要とする。

注7 工事期間は工事を行う上で必要な期間とすること。

(工事抑制期間を考慮すること。)

注8 使用期間は3年とすること。

注9 添付書類の欄には、案内図、公図の写し、平面図、委任状、物件の構造等を明らかにした図面、その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。